



学校だより  
ながや

令和4年度 3月号  
令和5年2月28日  
横浜市立永谷小学校  
校長 平野 好子

## 成長を実感し感謝する姿

校長 平野 好子

厳しく冷たい空気を感じられる日が少なくなり、日差しも温かくなってきました。いよいよ3月を迎えます。

6年生は3月の卒業を前に、先日2月24日（金）5時間目の授業参観の時間に「花開会（はなびらかい）」を開きました。これは、6年生の実行委員の子どもたちが中心となり、『みんなで成長を喜び、感謝の気持ちをおうちの方に伝えよう』を合言葉に準備を進めてきた会です。子どもたちは、永谷小学校で学んだ「思い出」「団結」「勇気」「友情」「感動」「青春」「希望」で自分の「未来」をつくろうとしています。今後進む道のそれぞれの場所で、一人ひとりがそれぞれの素敵な花を咲かせられるように「花開会」と名付けたのだと会の始めのことばで紹介されました。

「花びらたちの言葉」として、卒業を1か月後に控えた今の思いを、一人ひとりマイクで会場に参会されたおうちの方々に伝えました。1～5年生の頃の思い出も子どもたちの言葉で、リレーのようにつないでいきました。「旅立ちの歌」「花は咲く」の合唱は、互いの声を聴き合い、高音部を美しく響かせていました。スポーツフェスティバルで演じたソーラン節も踊りました。『これから続く道の先で、一人ひとりが咲きほこれる未来をつくっていきましょう。そのときに忘れてはいけないのは、自分たちに関わってくれた全ての人に感謝することです。』と終わりの言葉で締めくくり、これまでの学校生活を実行委員が編集した映像で振り返りながら会は閉じられました。6年間の思い出を巡る旅として「花開会」を子どもたちが仲間とともに、楽しみながら創りあげていました。明るく爽やかで、たくましく成長した頼もしい姿でした。

学年をたてわりにして編成したグループで活動するなかよし活動の班長も6年生から5年生に引き継がれました。1～5年生のなかよし班で、6年生へ感謝の気持ちを伝える「サンクスフェスティバル」を成功させようという目標をもって、「サンクスフェスティバル」に向かって出発しています。現在、5年生を中心に、それぞれの学年で行う準備を確認し、取り組んでいる最中です。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、「自ら学び 人とつながり 未来をつくる永谷の子」を目指し、日々の教育活動を大切にして取り組んでまいりました。各学年の子どもたちの学びに際して、たくさんの地域の方々や外部の方々に関わっていただきました。子どもたちは、お話を聞かせていただき、実際に体験することをご指導・ご支援いただくことで、学びを深めることができました。

今年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。